アイデアバンク提案書（２６－８）

朝倉市アイデアバンク設置要綱第３条の規定により、次のとおり提案します。

提案の名称	筑後川中流域の古代文化を学ぶ
テーマ	■ 観光・史跡　■ 農畜産物　□ 文化・スポーツ　□ 教育 □ 子育て・福祉　□ 環境　□ ＰＲ　□ 防災 □ その他（　　）
エ リ ア	■ 観光地等　□ 遊戯施設等　□ 駅周辺　■ 直売所・公園 □ 公的施設　□ その他（　　）
提案の対象・意図	対象（ 朝倉市の歴史・文化に興味のある方　　） 意図（ 朝倉市の交流人口や人口増加に繋げる　　）
提案の背景	朝倉市は、筑後川中流域に位置しており、弥生時代の環濠集落遺跡である「平塚川添遺跡」を保存しています。観光大使として「女王卑弥呼」を選出しており、令和８年度で４４代を数えます。また親善大使としては「邪馬台国甘木・朝倉説」を提唱される安本美典氏を任命しており、これらは古代の歴史・文化を学べ、自然溢れる「朝倉市」のイメージ作りに役立っています。 この積み重ねが広く全国に知られつつあり、「卑弥呼の墓」と言われています「山田の長田大塚古墳」を訪れる考古学ファンが非常に増えています。
提案の概要	古代文化の良さを広くアピールするツアーや講演会の実施
提案の具体的内容	「朝倉市の基幹産業は農業である」と言われ続けていますが、農業従事者数や人口は減少の一途を辿っています。朝倉市は九州一の大河である「筑後川」の中流域に位置し、筑後平野に恵まれ、福岡都市圏に対する水源地を有しています。このような特性を活かし、古代から受け継がれてきた「自然・歴史・文化」といった魅力を見つめ直し、朝倉市の古代文化の良さを広くアピールします。 ・筑後川中流域の古代からの歴史・文化を含む史跡・遺跡の観光パンフレットの作成。 ・朝倉地域の歴史探訪ツアーの実施。 ・邪馬台国に関する講演会の開催。
事業効果	広く全国の方々に自然と文化溢れる「朝倉市」を知っていただくことが、観光客や宿泊者を含む交流人口に繋がり、ひいては定住人口が増え、地域の活性化に繋がります。
特記事項	